



会 長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副 会 長 道尻 誠助 幹 事 正部家光彦
クラブ奉仕 会 計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副 幹 事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八 戸 市 番 町 14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022～23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう！

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小 林 幹 夫

12 月 は 疾 病 予 防 と 治 療 月 間 で す

第3252回例会 2022.12.7

会 長 要 件 小林 幹夫 会長



12月に入った途端に八戸もあつという間に雪化粧になってしまいました。昨日から続いた雪は、今朝けっこう道路事情が悪かったので、皆さん運転には気を付けましょう。

昨日国際ロータリーからわたし宛にメールが届きました。その内容は2022年手続要覧の案内のメールでした。この中には規定審議会を経た最新の「国際ロータリー定款・細則」がありますし、さらにクラブにとって重要な「標準的なロータリークラブの定款細則」が記載されています。ですので、それが変わりましたので、当クラブでも正式に定款・細則を変更していかなければならないと思っています。これからきちんと手続きをしていきたいと思っています。

幹 事 報 告 正部家光彦 幹事

○ロータリーレートのお知らせ

12月1日より、1ドル=138円



寄付をなさるなら今のタイミングかと思っていますので、積極的に寄付をよろしくお願いいたします。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会 植草 務委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 高谷勝義さん

・奥様誕生祝

高谷勝義・佐々木泰宏さん

・結婚記念日

平戸昭彦・深澤 隆さん

小林幹夫さん 本日の年次総会よろしくお願いいたします。

橋本八右衛門さん 今年も新春しほりたて予約受け付け中です。

山村和芳・小井田和哉 } ニコニコデー
澤藤孝之・中村稔彦さん }

築館ガバナーエレクト壮行会について

石橋信雄さん



12月11日(日)にホテル青森で、築館ガバナーエレクト壮行会が地区の皆様と共に午後5時～7時まで行われます。八戸クラブの皆様には声を掛けさせていただき、17名の皆様で壮行会に出席する運びとなりました。当日は三八五バスが八戸グランドホテルから午後2時半に出発しホテル青森に向かい、終了後はそのバスでグランドホテルに戻ってきます。午後2時半出発ですので、2時20分にご集合ください。なお、バスを利用されない方は事前に事務局または石橋までご連絡をお願いします。

直前会長

副幹事

会計補佐

小林 幹夫

小田山紀暢

小井田和哉

紺野 広次期会長あいさつ



人事を決めるにあたり多数の方にいろいろご相談させていただきました。次年度は築館さんが地区ガバナー、基隆ロータリークラブが周年を迎えますので、今まで行き来していなかった基隆との交流も次年度は活発に行わなければならないということで、仕事が山積している年です。そんな中、お引き受けいただいた方々、本当にありがとうございました。

年 次 総 会

1. 2021-22年度会計報告



前年度会計 渡辺 孝
会計監査を熊谷清一さんから受けており、適法正解であると認めていただいております。

省略

2. 2022-23年度会計中間報告



今年度会計 佐々木泰宏
2022年11月20日時点の通帳
残高報告

省略

3. 2023-24年度理事役員(案)

会 長	紺野 広
副会長・クラブ奉仕委員長	橋本 昭一
会長エレクト・会長ノミニー	橋本八右衛門
職業奉仕委員長	道尻 誠助
社会奉仕委員長	岡崎 孝文
国際奉仕委員長	鶴飼 寿栄
青少年奉仕委員長	夏川戸 斉
幹 事	松本 剛典
会 計	妻神 和憲
S A A	佐々木泰宏

上 期 委 員 会 活 動 報 告

クラブ奉仕委員会

道尻誠助委員長



年度時初めに小林会長から、「クラブの活動を円滑に進めるために所属の各委員会と連携を密にしてください。」との指示をいただいています。

いろいろ計画は考えましたが、コロナ禍でなかなか企画できなかったこともありました。

ただ一つ実施できたのは、クラブ奉仕委員会とMテーブルのIDMを開催しました。上期の活動内容および下期の内容等についてお互い話し合った後、フリートーキングで、内容もまちまちでしたが、クラブに対する思い、これからこうしたほうがいいのかという話で盛り上がり、予定の時間を1時間オーバーしました。クラブは昼の例会も大事ですし、夜の飲み会を兼ねた交流もひじょうに大事だということを実感しました。後期も何か計画したいと思います。皆さんにご案内しますのでよろしくをお願いします。

職業奉仕委員会

妻神 和憲委員長

例年通り、上期は月初めに四つのテストの唱和をする。それによって皆さんに四つのテストの中身をいろいろかみ砕いて実践してい



ただくような機会を設けると
というのが上期の活動です。

下期に向けて1月に職場訪問を予定しています。昨年、例会の中で保健センターの方がいらっしゃって、そちらを訪問する計画を立てましたが、やはりコロナの蔓延状況を考えるとそれはちょっときついだろう。会員の職場を訪問するということで、1月26日(水)の例会は松本剛典さんの会社、株式会社ヤサカさんを皆さんで訪問し、職場見学を実行したいと思っています。

社会奉仕委員会

地代所久恭委員長



今年度の上期活動は「親子でのチャレンジクッキング」を行いました。市内幼稚園の年長さん親子を毎回抽選で10組選び、南郷地区の農園で果

物や野菜を収穫し、近くの公民館調理室で調理の先生のご指導をいただきながら、親子で料理体験をするというものでした。

7月はブルーベリー、8月はとうもろこし、9月はさつまいもを収穫し、その後、公民館で約3品程度の料理を行いました。参加した父兄の方々のお話を伺いますと、皆さんたいへん貴重な体験をさせていただいたとたいそう喜んでおられました。

また下期については2月5日に小中学生のカルタ大会を予定しています。2年間中止となっておりましたが、現段階では開催に向けて準備をしているところです。ぎりぎりにならないと何とも言えませんが、開催の場合は皆さん方の多くのご参加をお願いいたします。

国際奉仕委員会

中村 稔彦委員長



米山委員会は、10月は米山月間でした。3年ぶりにマレーシア出身で、弘前大学に通っているチェン・ロン・ジュンさんをお呼びして生の

声を聞くということでお話をいただきました。弘前大学での食品栄養学の専門勉強について、

近況報告のお話をいただきました。

ロータリー財団委員会は、11月がロータリー財団月間でした。村井達さんからロータリー財団についての報告、ゲストとして以前八戸ロータリークラブに在籍されていた富岡義勝さんをお呼びして「ロータリー財団について」というタイトルで卓話をいただきました。

姉妹友好クラブ委員会は、基隆ロータリーについては2023年に創立70周年を迎え、挨拶のために来八の意向を示していましたが、新型コロナウイルスの影響で時期を見計らうことになりました。友好クラブの能代ロータリークラブは来年春にゴルフ交流を行いたい旨を伝えており、その意向を現在確認中です。同じく友好クラブの横手ロータリークラブは春にもさくらんぼを頂戴しましたが、11月に新米をいただきました。横手ロータリークラブも65周年ですが、内々にお祝いをすると伺っております。またゴルフ等の交流の働きかけをしていく予定です。

青少年奉仕委員会

橋本八右衛門委員長



インターアクト委員会、ローターアクト委員会ともにコロナ禍という不安定な状況に甘んじ、半年の活動はほぼ様子見で終わってしまったと

いうところです。

インターアクト委員会活動についてはコロナ禍において引き続き、概況を鑑みながらという形になりますが、顧問の先生や3名のインターアクターにクリスマス例会にも参加していただくことになっていて、徐々に普通に帰りつつあります。まだまだ慎重さは必要になりますが、学校側とも相談しながらインターアクターと共に活動が1つでもできるように、残りの半期を努力して参りたいと思います。

ローターアクト委員会の活動は、休眠状態のローターアクトクラブの再建について、なかなか取り組めておりません。「近隣各クラブの協力を得て、南グループ全体でのローターアクトクラブ作り、また大学、専門学校

の学生なども対象にしたサークル的なクラブとしての再生などの方向性を検討しながら、構成員10名程度に再出発を目標とする。」という計画を掲げておりましたので、残り半期、方向を定めながら具体的な勧誘活動等を行いながら、再生のきっかけ作りに邁進できればと思っています。

3 分間スピーチ

今 彰夫さん



「空調服による熱中症予防対策の効果」についてお話しします。

当社の配電部門で空調服を採用した経緯として、配電部門は道路沿いに電柱が立っていますが、その電柱を立てたり、その上に乗っている電線を引っ張ったり、そういう工事をする部門です。その他にも当社では電気工事といえ大きく分けて4つの部門に分かれています。①配電部門 ②発電部門 発電所や変電所を担当する部門 ③送電部門 鉄塔で作業をする部門 ④内線部門 ホテル建物内を施行する部門に分かれています。

配電部門で空調服を全面的に採用したデータが出ていますので、紹介します。約10年ほど前に東北6県+新潟の全社で年間の熱中症で病院に運ばれる件数が平均で6~7件、多い年で15件発生していました。その中で重症化したり、病院に運ばれていないけれど軽度の熱中症もかなり多かった。真夏のアスファルトの上は本当に40℃を超える温度で、ひじょうに過酷な現場です。特に新入社員で、初めて夏を迎える若い子たちの発生が多かった。また、近年の温暖化で年々暑さが増しているということで、平成26年に全社の配電部門の直営社員と協力会社の社員全員に空調服を配布しました。協力会社にも配布したというのは、やはり使えといってもなかなかお金がないということで用意しない協力会社もあるので、頑張って全員に配布しました。

熱中症対策として配布した空調服ですが、最初、導入した1、2年はやはり使いづらい、

重い、作業しづらいとか、そんな方々がたくさんいて、なかなか効果が出てきませんでした。3年目くらいから効果が出はじめ、今採用してから10年近くなりますが、今では年間平均でだいたい1~2件と1/3以下に減少しました。

その間の効果として、夏場の疲労の軽減。やはり夏場は昼暑い現場で一生懸命肉体労働して、そして疲れて家に帰って、また夜も暑苦しくて眠れないという状況が続きます。その中で疲労も蓄積していく。昼の作業の中で、空調服を使って、いくらか涼しい中で作業をすると疲労も軽減されて、安全確保の面、細かく追及していくと生産性の方も向上していているのではと思われます。

今10年近く使っていますが、うちの現場の人たちは、この空調服なしでは夏は越せないという感じで言っています。パトロールなどに行っても、夏場ではほぼ100%の人が着用して、使用しています。2年くらい前に一回、関東の現場にパトロールに行ったことがありました。向こうの建築現場ではこれはだいたいほぼ9割過多、100%に近い方がこの空調服を着て、建築現場で作業していました。

空調服の性能は、バッテリー1個で、風量を最大で約4時間。風量中間くらいで約8~10時間くらい。夏はだいたい風量最大で使用しますので、1日バッテリー2個使用しています。作業服は汗をかいて汚れますので、このファンとバッテリーを取り外して作業着側を洗濯できます。

気になる価格は、うちの本社でちゃんとした値段を教えてくださいませんが、ネットで調べてみると、当社で使っているメーカーは本当の空調服というメーカーですが、そのホームページを見たら、着る作業着側は安くってほしい4~5,000円。ファン、バッテリー、充電器のセットは安い方で約16,000円くらい。そっちのほうが高いみたいです。今は冬ですが、来年の夏に向けて、現場を持っている方は現場で、レジャーにも参考に使っていただければと思っています。